



三上 淳
Mikami Atsushi
企業庁浄水課浄水管理係長

明日の滋賀を創る水

信頼の水で、地域の未来に貢献します

DAILY JOB



◎整備
浄水場や水道管等の設備を行い、各施設の維持が行われている。災害や事故が発生したときも、迅速かつ的確に対応できるよう、点検や修繕工事などの発注や現場監督などを行っている。



◎検査
定期的な水質検査に加え、異常時には臨時で水質検査が実施されている。水道水が安心・安全であることを証明するため高い精度の検査、調査、研究が行われている。



◎供給
遠方管理システムで各浄水場や調整池等の水量・水質等の調整を24時間体制の（夜間は委託）でしている。いつでも水を止めることなく、安定した供給ができるよう、水道を見守っている。

水道職になるには？

- ・ 資格要件はありません
- ・ 入庁後に勉強していけば問題ありません
- ・ 先輩職員が現場で指導します
- ・ 責任感のある人は大歓迎です
- ・ 転職者も多数在籍しています

VOICE



◎水道職に求められる資質
チームで住民の皆様へ安心安全な水を届けたいといけなないので、チームでの仕事が好きで、責任感が強い人は向いていると思います

◎仕事のやりがい
漏水時に断水しないようにシミュレーションし、復旧していく仕事にやりがいを感じます

◎印象に残った仕事
令和6年能登半島地震の被災地支援です。ライフラインである水の安定供給のために水道職の専門技術を活かした支援を行いました

↓実際の被災地支援時の様子↓



浄水課 浄水管理係 岡田主任技師

◎業務内容
安全な水を供給するために水質の検査を行っています。国で指定された基準を満たすように日々取り組んでいます

◎志望動機
ライフラインを支える仕事がしたいと思っていた中で、県民の皆様へ安心安全でおいしい水を届けるための仕事に魅力を感じ、水道職を選びました



浄水課 水質管理室 武田技師

◎業務内容
県内にある4つの浄水場の機械運転状況の監視や送水に異常が発生した際の対応等を行っています

◎仕事のやりがい
県民の方の飲む水を安定供給できていることに日々やりがいを感じています

◎職場の雰囲気
明るい職場で先輩方には日頃から悩み相談に乗っていただいています



浄水課 運転監視係 黒田技師

係長からみて職場の雰囲気は？

水道職のプロパー職員は約40名で、顔の見える関係で風通しも良く、相談しやすいと思います。

企業庁の仕事はどう？

今日も無事水を届けることができたという達成感があり、やりがいのある仕事です。

若手に対して思うことは？

これまで自分が上司にもなったように、一緒に行動するなかで経験を伝え、技術継承をしていきたいです。現場に行って自分の目で見て、触れることが大切で、柔軟な発想で水道事業に向き合ってほしいです。



↑被災地支援等で使用する給水車↑



企業庁の不思議

企業庁の検査室には魚が泳ぐ水槽があります。鑑賞用？非常食？魚たちはどのような役割を担っているのでしょうか。



企業庁浄水課第一の試験室で飼育されている魚

企業庁浄水課第三試験室の試験室

【写真】

滋賀県企業庁では「水道用水供給事業」と「工業用水道事業」の2つの事業を営み、365日24時間水道を見守っています。

安全で良質な水を安定して供給します。信頼を支える**強靱**なライフラインを構築します。社会の変化に対応した**持続**可能な経営を推進します。

上記の基本目標に掲げる3つの視点に基づいて、工場等で使用される水の供給、また琵琶湖や川の水を浄水場で飲み水にして周辺の市町の配水池まで送ることが企業庁の役割です。

「滋賀県の水は美味しい、〇〇の水は飲めたものじゃない…」なんて会話をよく耳にしますが、それはまさに企業庁で働く職員たちの日々の努力の賜物です。

三上係長はそんな彼らのことを「縁の下の力持ち」と表現します。